

中途退学者の原因分析に対するR5年度の学科の対応策（R5年7月教授会に報告）				学科のR5年度対応策に対する実施状況及びその結果	令和6年度の対応策(案) (前年度結果及びR5年度の退学者状況を踏まえて)
退学事由		R5年度の対応策等			
ア.	修学意欲の低下	【児教】	・今後もキャリアガイダンスや各教科内で、指導教員と科目担当者が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。	【児教】 ・キャリアガイダンス等を通して、学習への明確な動機づけや将来を見据えた履修計画などを、指導教員と科目担当者が連携することで学習意欲を維持できるよう取り組んだ。しかし、就学意欲の低下を早期発見して対応することができない面があり、この事由で1名の退学者があった。 【福祉】 R5年度の対応策を講じた結果、該当者はいなかった。 【食栄】 ・学外研修や先輩による学外実習報告を通した導入教育の実施や、1、2年生の交流の時間を設け、栄養士としての職業観を育み、学習に対するモチベーションをあげるための取り組みを行った。 ・指導教員を中心に学生の状況把握には常に努め、専攻全体で連携を図りながら学生の支援を行った。 結果、該当者はいなかった。 【教養】 就学意欲が維持されるよう保証人と連絡をとりつつ教員間で情報共有をしながら必要な対策を講じ、指導教員を中心に適切な支援を行った。	【児教】 ・今後もキャリアガイダンスや各教科・学科会議での情報共有等で、指導教員と科目担当者・学科の他教員が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。 【福祉】 ・就学意欲が維持できるように、指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。 【食栄】 ・導入教育や1、2年生の交流の時間など、可能な限り早期に設け、入学時のモチベーションが維持および向上できるよう取り組む。 ・栄養士としての職業観を育むための場を設け、学習に対するモチベーション向上に繋げる。 ・指導教員を中心に学生の状況把握に努め、専攻内で情報共有し連携して支援する。 【教養】 学生の就学意欲が維持されるよう教員間で情報共有しつつ、指導教員を中心に相談や指導など必要な対策を講じる。
		【福祉】	・就学意欲が維持できるように、指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。		
		【食栄】	・導入教育や1、2年生の交流の時間など、可能な限り早期に設け、入学時のモチベーションが維持および向上できるよう取り組む。 ・栄養士としての職業観を育むための場を設け、学習に対するモチベーション向上に繋げる。 ・指導教員を中心に学生の状況把握に努め、専攻内で情報共有し連携して支援する。		
		【教養】	・学生の就学意欲が維持されるよう教員間で情報共有しつつ、指導教員を中心に相談や指導など必要な対策を講じる。		
イ.	進路変更 (進学・転学・編入)	【児教】	・今後もキャリアガイダンスや各教科内で、指導教員と科目担当者が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。	【児教】 ・キャリアガイダンス等を通した学習への明確な動機づけや、将来を見据えた履修計画などを、指導教員と科目担当者が連携することで学習意欲を維持できるよう取り組んだが、当該学生が相談に来た際には既に進路変更の意思を固めて訪れることが多いことや明確な進路変更の方向性を持っており、進路変更の意思を変えることには繋がられずこの理由で2名の退学者があった。 【福祉】 R5年度の対応策を講じた結果、該当者はいなかった。 【食栄】 ・入学後のミスマッチを防ぐために、高校連絡会や出張講義、オープンキャンパス等で、専攻の特色や教育内容、就職先について、詳しくわかりやすい情報提供に努めた。 ・学外研修や先輩による学外実習報告を通した導入教育の実施や、1、2年生の交流の時間を設け、栄養士としての職業観を育み、学習に対するモチベーションをあげるための取り組みを行った。 ・指導教員を中心に学生の状況把握には常に努め、専攻全体で連携を図りながら学生の支援を行った。 結果、該当者はいなかった。 【教養】 R5年度教養該当なし	【児教】 ・今後もキャリアガイダンスや各教科内で、指導教員と科目担当者が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。必要時は本人にとって望ましい進路を決められるように支援する。 【福祉】 ・指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。 【食栄】 ・高校連絡会、出前講義、オープンキャンパス等で、専攻の教育内容や特色、就職についての情報提供や、将来プラン(キャリア・アップ)を提案し、ミスマッチ入学を防ぐ。 ・導入教育や1、2年生の交流の時間など、可能な限り早期に設け、入学時のモチベーションが維持および向上できるよう取り組む。 ・栄養士としての職業観を育むための場を設け、学習に対するモチベーション向上に繋げる。 ・指導教員を中心に学生の状況把握に努め、専攻内で情報共有し連携して支援する。 【教養】 教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つけられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。
		【福祉】	・指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。		
		【食栄】	・高校連絡会、出前講義、オープンキャンパス等で、専攻の教育内容や特色、就職についての情報提供や、将来プラン(キャリア・アップ)を提案し、ミスマッチ入学を防ぐ。 ・導入教育や1、2年生の交流の時間など、可能な限り早期に設け、入学時のモチベーションが維持および向上できるよう取り組む。 ・栄養士としての職業観を育むための場を設け、学習に対するモチベーション向上に繋げる。 ・指導教員を中心に学生の状況把握に努め、専攻内で情報共有し連携して支援する。		
		【教養】	・教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つけられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。		
ウ.	進路変更(就職)	【児教】	・今後もキャリアガイダンスや各教科内で、指導教員と科目担当者が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。必要時は本人にとって望ましい進路を決められるように支援する。	【児教】 ・キャリアガイダンス等を通した学習への明確な動機づけや、将来を見据えた履修計画などを、指導教員と科目担当者が連携することで学習意欲を維持できるよう取り組んだが、当該学生が相談に来た際には既に進路変更の意思を固めて訪れることが多いことや明確な進路変更の方向性を持っており、進路変更の意思を変えることには繋がられずこの理由で2名の退学者があった。 【福祉】 R5年度の対応策を講じた結果、該当者はいなかった。 【食栄】 ・入学後のミスマッチを防ぐために、高校連絡会や出張講義、オープンキャンパス等で、専攻の特色や教育内容、就職先について、詳しくわかりやすい情報提供に努めた。 ・学外研修や先輩による学外実習報告を通した導入教育の実施や、1、2年生の交流の時間を設け、栄養士としての職業観を育み、学習に対するモチベーションをあげるための取り組みを行った。 ・指導教員を中心に学生の状況把握には常に努め、専攻全体で連携を図りながら学生の支援を行った。 結果、該当者はいなかった。 【教養】 R5年度教養該当なし	【児教】 ・今後もキャリアガイダンスや各教科内で、指導教員と科目担当者が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。必要時は本人にとって望ましい進路を決められるように支援する。 【福祉】 ・指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。 【食栄】 ・高校連絡会、出前講義、オープンキャンパス等で、専攻の教育内容や特色、就職についての情報提供や、将来プラン(キャリア・アップ)を提案し、ミスマッチ入学を防ぐ。 ・導入教育や1、2年生の交流の時間など、可能な限り早期に設け、入学時のモチベーションが維持および向上できるよう取り組む。 ・栄養士としての職業観を育むための場を設け、学習に対するモチベーション向上に繋げる。 ・指導教員を中心に学生の状況把握に努め、専攻内で情報共有し連携して支援する。 【教養】 教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つけられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。
		【福祉】	・指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。		
		【食栄】	・高校連絡会、出前講義、オープンキャンパス等で、専攻の教育内容や特色、就職についての情報提供や、将来プラン(キャリア・アップ)を提案し、ミスマッチ入学を防ぐ。 ・導入教育や1、2年生の交流の時間など、可能な限り早期に設け、入学時のモチベーションが維持および向上できるよう取り組む。 ・栄養士としての職業観を育むための場を設け、学習に対するモチベーション向上に繋げる。 ・指導教員を中心に学生の状況把握に努め、専攻内で情報共有し連携して支援する。		
		【教養】	・教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つけられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。		

エ.	経済的困窮	【児教】	・学生支援課と連携し各種経済的支援制度の利用等を勧め、修学継続に繋がるよう支援する。	【児教】 ・大学で勧められる経済的支援制度の利用だけでは解決できない経済的な課題があり就職したいとの理由で、退学となった者が1名あった。	【児教】 ・学生支援課と連携し各種経済的支援制度の利用等を勧め、修学継続に繋がるよう支援する。
		【福祉】	・学生支援課と連携しながら、様々な経済的支援に関する情報提供・活用などを勧め、学習が継続できるように支援する。	【福祉】 ・R5年度は当理由の退学者はいなかった。学納金未納で除籍になった学生1名は、当初、身体疾患による退学希望が出たが、学納金の納付ができず、除籍となった。	【福祉】 ・学生支援課と連携しながら、様々な経済的支援に関する情報提供・活用などを勧め、学習が継続できるように支援する。
		【食栄】	・学生支援課の協力を得て奨学金制度等の利用を勧め、個々に応じた修学継続が可能な方策について紹介し、学業が継続できるよう支援する。	【食栄】 ・学生支援課と連携し、奨学金制度等の利用を勧め、個々に応じた修学継続が可能な方策について紹介し、学業が継続できるよう支援に努めた。結果、該当者はいなかった。	【食栄】 ・学生支援課の協力を得て奨学金制度等の利用を勧め、個々に応じた修学継続が可能な方策について紹介し、学業が継続できるよう支援する。
		【教養】	・学生支援課と連携しながら経済的支援に関する情報提供や相談を行うことで修学が継続できる環境を整える。	【教養】 学生支援課と連携しながら経済的支援に関する情報提供や相談を行い、修学が継続できる環境整備に努めた。	【教養】 学生支援課と連携しながら経済的支援に関する情報提供や相談を行うことで修学が継続できる環境を整える。
オ.	学力不足	【児教】	・科目担当者の支援に加えて、なんでも学生相談室の利用を勧めるなど、学修を支援するとともに、個人情報保護に配慮した上で教員間で配慮の必要な学生情報を共有して対応する。	【児教】 ・R5年度は該当者はいなかった。	【児教】 ・科目担当者の支援に加えて、なんでも学生相談室の利用を勧めるなど、学修を支援するとともに、個人情報保護に配慮した上で教員間で配慮の必要な学生情報を共有して対応する。
		【福祉】	・学生の学習状況について専攻内で情報の共有を図り、適切な支援を継続して実施する。	【福祉】 R5年度の対応策を講じた結果、該当者はいなかった。	【福祉】 ・学生の学習状況について専攻内で情報の共有を図り、適切な支援を継続して実施する。
		【食栄】	・個々の学習状況について専攻内で情報を共有し、学習支援員の協力を得ながら、各科目で適切に支援する。 ・学習支援の時間を週1回程設け、教員に気軽に質問や相談できる環境を整える。	【食栄】 ・個々の学習状況や単位取得状況について専攻内で常に情報共有し、専攻で学習支援の場を設けるなど、支援に努めた。結果、該当者はいなかった。	【食栄】 ・個々の学習状況について専攻内で情報を共有し、学習支援員の協力を得ながら、各科目で適切に支援する。 ・学習支援の時間を週1回程設け、教員に気軽に質問や相談できる環境を整える。
		【教養】	・学生の学力および学習状況について教員間で情報共有をしながら適切な支援を行う。	【教養】 R5年度教養該当なし	【教養】 学生の学力および学習状況について教員間で情報共有をしつつ学習支援室と協力して適切な支援を行う。
カ.	身体疾患	【児教】	・指導教員を中心に、保健室や保健管理委員会と連携して、修学を継続できる環境を整え支援する。	【児教】 ・R5年度は該当者はいなかった。	【児教】 ・指導教員を中心に、保健室や保健管理委員会と連携して、修学を継続できる環境を整え支援する。
		【福祉】	・指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室、保健管理委員会と連携しながら、学習が継続できるように支援する。	【福祉】 R5年度の対応策を講じた結果、該当者はいなかった。	【福祉】 ・指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室、保健管理委員会と連携しながら、学習が継続できるように支援する。
		【食栄】	・指導教員を中心に、専攻内で情報共有し、保健室や保健管理委員会と連携し支援する。	【食栄】 ・専攻内で情報共有し、保健室や保健管理委員会と連携して支援に努めたが、当該学生については十分に治療ができる環境が必要だったため、退学するに至った。	【食栄】 ・指導教員を中心に、専攻内で情報共有し、保健室や保健管理委員会と連携し支援する。
		【教養】	・指導教員を中心に保健室や相談室、保健管理委員会と連携しながら適切な支援を行う。	【教養】 R5年度教養該当なし	【教養】 指導教員を中心に保健室や相談室、保健管理委員会と連携しながら適切な支援を行う。
キ.	心身耗弱	【児教】	・入学前から健康上の問題を抱えている学生もいることから、引き続き保健室や保健管理委員会と連携しながら、適切な対応が図れるよう教員間で情報を共有し対応する。また、遠隔地から進学してきた学生には、特にきめ細かい支援や声掛けを行う。	【児教】 ・R5年度は該当者はいなかった。	【児教】 ・入学前から健康上の問題を抱えている学生もいることから、引き続き保健室や保健管理委員会と連携しながら、適切な対応が図れるよう教員間で情報を共有し対応する。また、遠隔地から進学してきた学生には、特にきめ細かい支援や声掛けを行う。
		【福祉】	・指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室、保健管理委員会と連携しながら、適切な支援を行う。	【福祉】 R5年度の対応策を講じた結果、該当者はいなかった。	【福祉】 ・指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室、保健管理委員会と連携しながら、適切な支援を行う。
		【食栄】	・指導教員を中心に、専攻内で情報共有し、保健室や保健管理委員会と連携し支援する。	【食栄】 ・問題を抱えた学生に対して、専攻内で情報共有し、保健室や保健管理委員会と連携し対応を図った。結果、該当者はいなかった。	【食栄】 ・指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室、保健管理委員会と連携しながら、適切な支援を行う。
		【教養】	・指導教員を中心に保健室や相談室、保健管理委員会と連携しながら適切な支援を行う。	【教養】 R5年度教養該当なし	【教養】 指導教員を中心に保健室や相談室、保健管理委員会と連携しながら適切な支援を行う。

ク.	海外留学	【教養】	・該当者が出た場合は、学生の相談に応じながら適切に対応する。	【児教】 ・1名該当者があり、指導教員を中心に本人の希望に添いながら支援を行った。 【教養】 R5年度教養該当なし	【児教】 ・該当者が出た場合は、学生の相談に応じながら適切に対応する。 【教養】 該当者が出た場合は、学生の相談に応じながら適切に対応する。
ケ.	その他	【児教】	・それぞれの退学事由に即して真摯に対応・支援し、退学者減へ向けて努力する。	【児教】 ・R5年度は該当者はいなかった。	【児教】 ・それぞれの退学事由に即して真摯に対応・支援し、退学者減へ向けて努力する。
		【福祉】	・指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。	【福祉】 R5年度の対応策を講じた結果、該当者はいなかった。	【福祉】 ・指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。
		【食栄】	・学生生活全般(レポート、課題、人間関係等)に関して相談できる環境を整え、学生支援の充実を図る。	【食栄】 ・レポートや課題、人間関係などを含む学生生活全般に関して、相談しやすい環境を整え、学習支援の充実を図ることができた。結果、該当者はいなかった。	【食栄】 ・学生生活全般(レポート、課題、人間関係等)に関して相談できる環境を整え、学生支援の充実を図る。
		【教養】	・該当する事項について、学生の相談に応じながら適切に対応する。	【教養】 R5年度教養該当なし	【教養】 該当する事項について、学生の相談に応じながら適切に対応する。

中途退学者数推移 (R元～R5)

全体

		R元	R2	R3	R4	R5
児童教育学科		7	7	10	17	10
生活科学科(福祉専攻)		1	2	0	1	1
生活科学科(食栄専攻)		8	2	5	6	1
教養学科		3	3	3	7	5
計		19	14	18	31	17
5 在籍者数 1 月 日数	J	391	390	387	405	375
	S(福祉)	27	18	19	18	17
	S(食栄)	111	83	105	105	90
	C	155	132	152	185	165
	計	684	623	663	713	647

児童教育学科

		R元	R2	R3	R4	R5
1 年		2	5	7	14	6
2 年		5	2	3	3	4
計		7	7	10	17	10
在籍者数 (5月1日)	1年	199	189	199	210	171
	2年	192	201	188	195	204
	計	391	390	387	405	375

生活科学科[福祉]

		R元	R2	R3	R4	R5
1 年		0	2	0	0	0
2 年		1	0	0	1	1
計		1	2	0	1	1
在籍者数 (5月1日)	1年	10	8	12	6	10
	2年	17	10	7	12	7
	計	27	18	19	18	17

生活科学科[食栄]

		R元	R2	R3	R4	R5
1 年		6	0	3	5	1
2 年		2	2	2	1	0
計		8	2	5	6	1
在籍者数 (5月1日)	1年	46	40	61	47	47
	2年	65	43	44	58	43
	計	111	83	105	105	90

教養学科

		R元	R2	R3	R4	R5
1 年		1	1	1	5	3
2 年		2	2	2	2	2
計		3	3	3	7	5
在籍者数 (5月1日)	1年	67	63	91	94	75
	2年	88	69	61	91	90
	計	155	132	152	185	165

1年・2年別計

		R元	R2	R3	R4	R5
1 年		9	8	11	24	10
2 年		10	6	7	7	7
計		19	14	18	31	17
在籍者数 (5月1日)	1年	322	300	363	357	303
	2年	362	323	300	356	344
	計	684	623	663	713	647

全体

	R元	R2	R3	R4	R5
児教	1.8%	1.8%	2.6%	4.2%	2.7%
生活(福祉専攻)	3.7%	11.1%	0.0%	5.6%	5.9%
生活(食栄専攻)	7.2%	2.4%	4.8%	5.7%	1.1%
教養	1.9%	2.3%	2.0%	3.8%	3.0%
計	2.8%	2.2%	2.7%	4.3%	2.6%

児童教育学科

	R元	R2	R3	R4	R5
1 年	1.0%	2.6%	3.5%	6.7%	3.5%
2 年	2.6%	1.0%	1.6%	1.5%	2.0%
計	1.8%	1.8%	2.6%	4.2%	2.7%

生活科学科[福祉]

	R元	R2	R3	R4	R5
1 年	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 年	5.9%	0.0%	0.0%	8.3%	14.3%
計	3.7%	11.1%	0.0%	5.6%	5.9%

生活科学科[食栄]

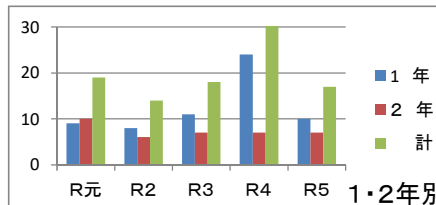
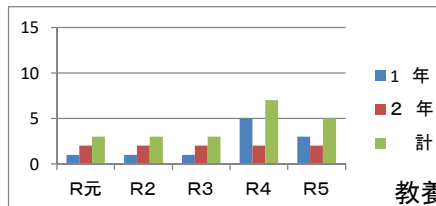
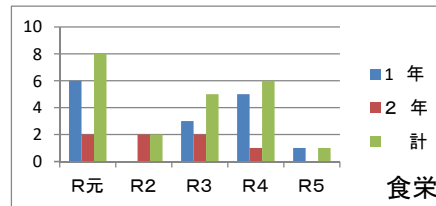
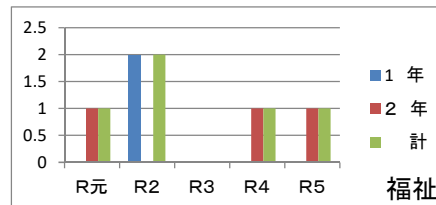
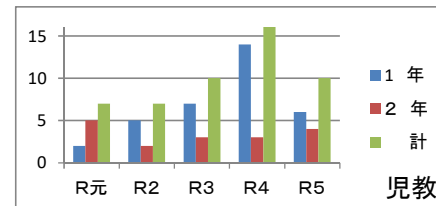
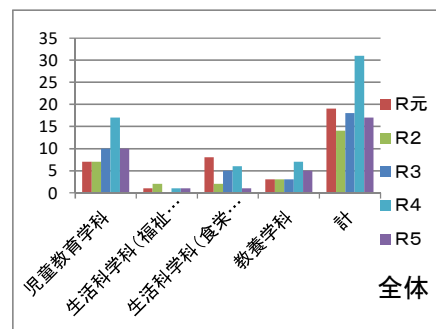
	R元	R2	R3	R4	R5
1 年	13.0%	0.0%	4.9%	10.6%	2.1%
2 年	3.1%	4.6%	4.5%	1.7%	0.0%
計	7.2%	2.4%	4.8%	5.7%	1.1%

教養学科

	R元	R2	R3	R4	R5
1 年	1.5%	1.6%	1.1%	5.3%	4.0%
2 年	2.3%	2.9%	3.3%	2.2%	2.2%
計	1.9%	2.3%	2.0%	3.8%	3.0%

1年・2年別計

	R元	R2	R3	R4	R5
1 年	2.8%	2.7%	3.0%	6.7%	3.3%
2 年	2.8%	1.9%	2.3%	2.0%	2.0%
計	2.8%	2.2%	2.7%	4.3%	2.6%



中途退学事由

全体

退学事由		R元		R2		R3		R4		R5	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	就学意欲の低下	1		1		6	2	10	1	3	2
B	進路変更(進学・転学・編入)		2			3	2	2		2	
C	進路変更(就職)	6	2	2	2		2	8	2	1	1
D	経済的困窮	1	3	2	2		1	2	1	2	4
E	学力不足										
F	身体疾患								1	1	
G	心身耗弱		1	3	2	2		2	2		
H	海外留学									1	
I	その他	1	2								
計		9	10	8	6	11	7	24	7	10	7

児童教育学科

退学事由		R元		R2		R3		R4		R5	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	就学意欲の低下			1		4		4	1	1	
B	進路変更(進学・転学・編入)		1			1	2	1		2	
C	進路変更(就職)	1	1	1			1	7	2	1	1
D	経済的困窮	1	1	1	2			1		1	3
E	学力不足										
F	身体疾患										
G	心身耗弱		1	2		2		1			
H	海外留学									1	
I	その他		1								
計		2	5	5	2	7	3	14	3	6	4

福祉専攻

退学事由		R元		R2		R3		R4		R5	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	就学意欲の低下										
B	進路変更(進学・転学・編入)										
C	進路変更(就職)		1	1							
D	経済的困窮			1							1
E	学力不足										
F	身体疾患										
G	心身耗弱								1		
H	海外留学										
I	その他										
計		0	1	2	0	0	0	0	1	0	1

食栄専攻

退学事由		R元		R2		R3		R4		R5	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	就学意欲の低下	1				2	1	4			
B	進路変更(進学・転学・編入)		1			1		1			
C	進路変更(就職)	4									
D	経済的困窮		1				1				
E	学力不足										
F	身体疾患								1	1	
G	心身耗弱				2						
H	海外留学										
I	その他	1									
計		6	2	0	2	3	2	5	1	1	0

教養学科

退学事由		R元		R2		R3		R4		R5	
		1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生
A	就学意欲の低下						1	2		2	2
B	進路変更(進学・転学・編入)					1					
C	進路変更(就職)	1			2		1	1			
D	経済的困窮		1					1	1	1	
E	学力不足										
F	身体疾患										
G	心身耗弱			1				1	1		
H	海外留学										
I	その他		1								
計		1	2	1	2	1	2	5	2	3	2